

## 中学2年理科 天気とその変化

### 1 気象観測と雲のでき方① 「気象観測」



人は昔から空を見上げ、雲の形や風のふき方などから、気象の変化を経験的に予測してきた。  
身のまわりの自然現象や気象の状態に関する気象情報を用いて、天気がどのように変化するか調べてみましょう。



? 身近な場所で、気象観測をしてみよう。

大気中で起こる様々な現象…( )

気象情報は、天気、気温、湿度、気圧、風向、風力などの( )をもとにつくられる。

#### 気象観測のしかた

天気…雲量を観測して天気を判断



雲量 0～1…( )



雲量 2～8…( )



雲量 9～10…( )

気温…地上約( ) mの高さではかる。

湿度…湿度表や乾湿計を用いてはかる。

気圧…気圧計を用いてはかる。

風向…風の( )方向を16方位で表す。

風力…風力階級表を用いて表す。

**？ 【観察1A】 身近な場所で、気象観測をしてみよう。**

場所による気温や風向・風力のちがいの原因について考えよう。

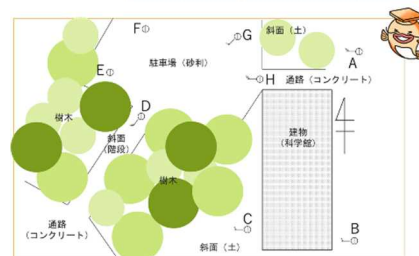
場所	気温	湿度	風向	風力
A	24.7℃	38.1%	西	2
B	24.7℃	39.0%	西	1
C	27.1℃	40.4%	西	1
D	24.1℃	40.5%	南西	2
E	23.5℃	40.6%		0
F	24.1℃	46.3%		0
G	26.1℃	39.1%	南西	1
H	25.5℃	38.0%	西	2

**<方法>**

- (1) いろいろな場所で気象観測を行う。
- (2) 観測データを地図に書き込んだり、表にまとめたりする。

**<結果>と<結果からいえること>**

- (1) 気温は、太陽の光が当たる場所は ( )。
- (2) 湿度は、地面が ( ) の場所は高い。
- (3) 風向・風力は、場所によって異なる。  
建物や木がある場所では、影響を受けている。

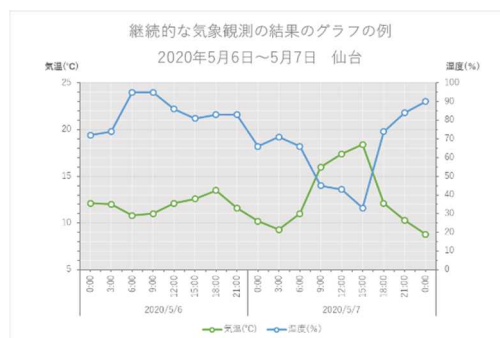


**？ 【観察1B】 継続的に気象観測をしてみよう。**

気象要素のデータの変化と天気の変化にどのような関係があるか考えよう。

**<方法>**

- (1) 観測場所を決める。
- (2) 継続観測を行う。  
(今回は気象庁のデータを利用)



**<観測からわかったこと>**

- (1) 気象要素は、時間とともに絶えず ( ) している。
- (2) 晴れの日、気温は日中 ( )、湿度は日中 ( )。
- (3) 雨の日の気温は朝から変化が ( )、湿度はくもりや雨の日は ( )。
- (4) 気圧は、晴れの日 ( )、くもりや雨の日は ( )。

**今回の学習のまとめ**

- ★気象要素は、観測する場所ごとに異なる。
- ★気象要素は、時間とともに絶えず変化する。

